



伊勢市青少年相談センターだより

令和4年1月号



「フィルターバブル」・「エコチェンバー」とは?

インターネット上のサービスの多くは、個人の使い方等に合わせて、動画サービスのおすすめや WEB サイトに表示される広告だけでなく、ニュースや検索結果なども人それぞれで異なる仕組みになっています。

スマートフォンを使っていて、前に閲覧したのと同じような内容のニュースやおすすめ商品の広告が続いて表示される経験は誰にでもあると思います。自分のスマホがどんどん使いやすくなり便利な仕組みです。

この仕組みが「フィルターバブル」と呼ばれるもので、この仕組みによって SNS でも同じ意見が集まってくる「エコチェンバー」と呼ばれる現象が起きます。仕組みや問題点について知しましょう。

★「フィルターバブル」

フィルターバブルとは、アルゴリズムがネット利用者個人の検索履歴、クリック履歴を分析して学習することで、個々のユーザーにとって望むと望まざるとにかかわらず、見たい情報が優先的に表示され、見たくない情報が遮断される仕組みです。検索結果だけでなく、ニュースサイトの「おすすめ記事」や SNS の「知り合いかも」などもカスタマイズされます。バブルの意味はユーザーが、1人で自分の考え方や価値観の「バブル (泡)」の中に孤立しているという意味です。

★「エコチェンバー」

SNS 上で似たような意見が集まる現象のことで、SNS で意見を発信すると自分と似た意見が返ってくるので、閉じた小部屋で音が反響する現象にたとえられています。自身が望まなくても、特定の思想や意見に自然と傾倒してしまい、無関心なことや自分と違う意見が見えづらくなる危険性があります。

☆ 対策

フィルターバブルは「ひとりづつが孤立する」「目に見えない」「ユーザーが選んだわけではない」という問題点があげられています。対策として閲覧履歴を定期的に削除したり、情報を収集する際に、ブラウザを閉じると同時に過去の検索履歴やログイン時のデータが自動的に削除される「プライベートブラウザ」の機能を利用します。そして、多角的な視点を持てるようにインターネットの情報とネット以外のテレビ、新聞等の情報と比較してみましょう。

伊勢市青少年相談センター 伊勢市小俣町元町5 4 0 小俣総合支所2階 社会教育課

TEL 0596-22-7894 FAX 0596-23-8641 s-soudan@city.ise.mie.jp

新年にあたり



伊勢市青少年相談センター 所長 山口 真司

明けましておめでとうございます。

平素は伊勢市青少年相談センターの諸活動に格別なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

我が国における青少年の非行情勢については、令和2年の刑法犯少年の検挙人員は戦後最少を更新し、三重県下においても同様の傾向で、統計的には少年非行は減少傾向です。

しかしながら、青少年を取り巻く環境は、社会と共に変化しています。少子高齢化の中、子育てに不安や負担を抱えた親が増え、地域におけるつながりも希薄化している状況の中、貧困、児童虐待、いじめのほか、コロナ禍での自粛生活等の影響といわれていますが、令和2年度は小・中学校における不登校が増加し、小・中・高等学校における令和2年度の自殺者は過去最高でした。このほかスマートフォンや SNS をはじめとした新たな機器、サービスの急激な普及により、青少年が悪意を持った大人の犯罪に巻き込まれたり、SNS 上でのいじめやネット依存なども大きな問題となっています。

伊勢市青少年相談センターでは、今後も青少年の健全育成のため非行防止に対する努力を続けていくことはもちろん、新しい問題についても目を向け、関係機関と協力して、青少年が健やかに育つ環境づくりをめざした諸活動に取り組んでまいります。何卒ご協力を賜りますように、宜しくお願い申し上げます。

尚、新型コロナウイルスに関して令和3年8月の三重県緊急事態措置、その後10月の三重県リバウンド阻止期間を経て、感染状況は落ち着いていますが、皆様方にあつては、活動時は、マスク着用、手指消毒など基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。

1
月
青
少
年
の
日
5
日
家
庭
の
日
16
日